

今週のトピックス

6月30日編集

○ツキノワグマによる被害発生続発 !

6月27日、有峰猪根平バーベキュー広場に常設されている木製ベンチがツキノワグマによる被害を受けました。木製のベンチは、無残にも壊された状態でした。木製のベンチの下には、クロヤマアリやアカヤマアリの成虫と蛹が見つかりました。同じ被害は、ビジターセンター前の看板にも及んでいます。今年のツキノワグマは昨年とは違うと考えます。昨年より、出現時期が早く、木製ベンチの破壊の程度が大規模で、広範囲に、出没場所が有峰森林文化村の施設や宿舎近くまで及んでいることです。熊対策を兼ね宿舎の周りの草刈りを行いました。舎等への侵入防止のため、厳重な戸締り、できる範囲での1Fの雪囲いを施行する予定です。宿舎に近づいた場合は威嚇行為(クマプレー、爆竹、バット等)を実施する必要もあると考え、準備を進めています。利用者への注意喚起は必須です。小池伸介著・澤井俊彦写真の「森と生きる。ツキノワグマのすべて」(2020年4月24日、文一総合出版初版発行)では、アリは初夏のツキノワグマの貴重なタンパク源と記載されています。補修のため、壊された木製のベンチを取り除き、腐食した固定ボルトをサンダーで切断しました。昨年観察された樹皮はぎ(クマはぎ)の被害はまだ観察されていません。

有峰は、ツキノワグマが常食としているブナやミズナラが生育する高原盆地で、ツキノワグマの恒常的生息域であることを忘れてはなりません。



被害を受けたベンチ (6/27 撮影)



被害を受けたベンチ (6/27 撮影)



壊された木製ベンチの下でアリを発見 (6/27 撮影)



サンダーで腐食したボルト切断中の指導員 (6/27 撮影)



高台より草刈り後の富山県農林水産公社有峰宿舎を望む
(猪根平にて 7/1 撮影)

○「あねくら姫の会」をご案内して

6月18日森の案内人平野指導員が、あねくら姫の会7名を東西半島にご案内しました。旧大沢野町のあねくら姫神社から命名された有志の会です。平野指導員は富山県自然解説員であり、有峰の動植物、野鳥にも精通しており、引く手数多です。当日は、東西半島遊歩道を散策しました。昨年は、有峰でもブナの実が不作だったので、特に東西半島では、ミズナラの熊棚が多くみられます。参加戴いたメンバーの多くは、初めて熊棚を見たので大変驚いていたようです。森の案内人平野指導員の説明に対し、植物の名前を覚えようと、皆、熱心にメモを取っていたとのことでした。平野指導員の説明に対し、質問も多く、なかなか進まず、東西半島遊歩道の途中までの散策となりました。コシアブラの先端部分を摘まんで、天プラ、エゴマ和え、コシアブラご飯を作ったそうです。来年は是非、若芽を採りに来ようと話しが決まったそうです。冷タ谷キャンプ場で昼食をとりました。



東西半島遊歩道を散策中のあねくら姫の会のメンバー
(6/18 撮影)



冷タ谷キャンプ場で昼食中のあねくら姫の会のメンバー
(6/18 撮影)

○週末は有峰で！

□猪根平バーベキュー広場にて

梅雨の晴間の6月27日(土)バーベキュー広場に家族連れが訪れ、バーベキューを楽しんでいます。お子さんが野草を摘んで楽しそうに遊んでいました。これから何を食べるのかな？ パパ頑張ってます！
昼食が楽しみです。



バーベキューベンチにて記念撮影 (6/27 撮影)



バーベキュー準備中の様子 (6/27 撮影)

□冷タ谷キャンプ場にて

6月27日(土)家族連れとその友人ら合計5人が冷タ谷キャンプ場を訪れていました。これから夕飯の準備をするところにお邪魔し、記念撮影をしました。夕飯が楽しみです。



冷タ谷キャンプ場にて記念撮影 (6/27 撮影)